富山市科学博物館
TOYAMA SCIENCE MUSEUM

富山湾における鯨類の記録（2003年）

著者	南部 久男, 西岡 満, 関谷 伸一, 山田 格, 大田 希生
雑誌名	富山市科学文化センター研究報告
号	27
ページ	75-78
発行年	2004-03-25
URL	http://repo.tsm.toyama.toyama.jp/?action=repository_uri&item_id=806

富山市科学文化センター研究報告第27号，pp.75-78；(2004)

短　報

富山湾における鯨類の記録（2003年）*

南部　久男[1)]，西岡　満[2)]，関谷　伸一[3)]
山田　格[4)]，大田　希生[5)]
[1)]富山市科学文化センター，[2)]高岡古城公園動物園，
[3)]新潟県立看護大学，[4)]国立科学博物館，[5)]北陸水中映像

Stranding records of cetaceans in the Toyama Bay, during the year 2003.

Nambu H., Nishioka, M., Sekiya, S.,
Yamada, K. T. and Ota M.

富山湾（石川県側及び富山県側）では，8種の鯨類がストランディング及び目撃により記録されている（佐野，1999；南部他，2002，2003）。今回，2002年と2003年に富山湾（富山県側及び石川県側）で確認した4例の鯨類ついて報告する。

富山湾で確認された鯨類

2002年，2003年における富山湾での鯨類の確認状況等は下記の通りであり，確認地点を図1に示す。

1．ミンククジラ？　*Balaenoptera acutorostrata*？
ナガスクジラ科　Balaenopteridae　　図2
場　所：石川県能都町矢並の海岸
確認日：2003年11月26日
状　況：11月26日に付近の住民により海岸に打ち上がっているクジラの腐乱死体が発見され，能都町役場に連絡があった。同町水産課等が現地で確認した。27日に地元の産業廃棄物処理業者により処分された。
頭部は欠損し，尾は尾柄部で折れ曲がっていた。右の胸ビレは残り，左の胸ビレは消失していた。胴の周辺の浅瀬に，下顎骨，頸椎数個，浅瀬及び胴からやや離れた海岸に胸椎数個，尾椎数個，２個結合した骨端板数組が散乱していた。下顎骨（左右どちらか）が３個に折れていた。
性別：不明
計測値：残っていた部分の胴の長さ，約4.25m。
確認者：南部久男（11月26日現地確認，11月27日処分立会い）
備考：散乱していた頚椎，胸椎，尾椎等収集する（富山市科学文化センター所蔵）。

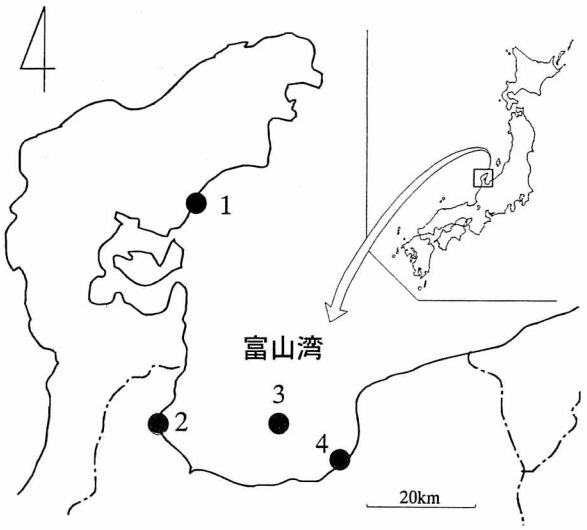


図１．確認地点
数字は本文中の番号と対応（1．石川県能都町矢並、2．高岡市太田松太枝浜，3．魚津市沖，4．魚津市三ケ）。

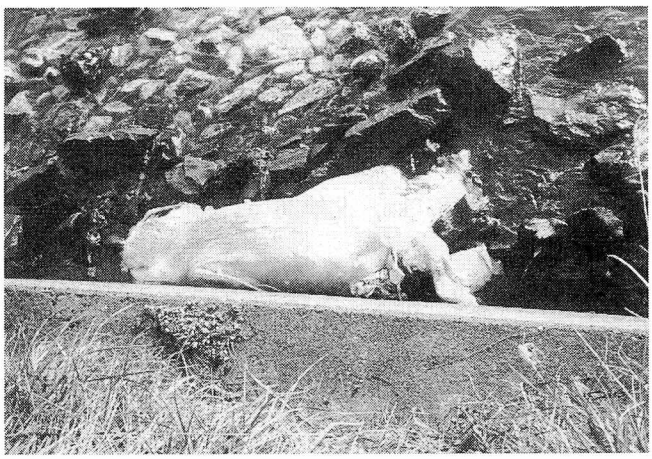


図２．2003年11月26日，石川県能都町矢並の海岸で発見されたミンククジラ?の漂着死体（南部久男撮影）

2．ミンククジラ　*Balaenoptera acutorostrata*　ナガスクジラ科　Balaenopteridae　　図3
場　所：高岡市太田松太枝浜
確認日：2003年12月2日
状　況：12月2日に市民により発見され，高岡市役所へ連絡があった。同市環境保全課が現地確認を行った。11月30日の海岸の清掃時には発見されていないため，それ以後に死体が流れついたと思われる。12月3日，富山県高岡土木センター，高岡市環境保全課立ち会いのもと，産業廃棄物処理業者により解体・運搬され，

＊富山市科学文化センター研究業績第303号



図３．2003年12月2日，高岡市太田松太枝浜で発見されたミンククジラの漂着死体。西を望む。（南部久男撮影）。

焼却処分された。
性別：オス
計測値：体長約5.15m。
確認者：12月2日，南部久男現地確認，12月3日，南部久男，西岡満，大田希生処分立会い。
備考：頭骨，下顎骨，舌骨，胸骨，左骨盤骨，左胸ビレの骨を収集（頭骨，下顎骨，左胸ビレの骨は国立科学博物館，その他は富山市科学文化センターで保管）。

３．ツチクジラ　*Berardius bairdi*　アカボウクジラ科　Ziphiidae　図４
場所：魚津市沖約10km，北緯36°52'，東経137°18'（水深840m）
確認日：2002年6月29日
状況：第九管区海上保安本部のヘリコプターが確認し，写真撮影された。写真には，15～16頭の群れが写っていた。日本海セトロジー研究会小原王明会員の努力により，海上保安庁から供与を受けた画像素材などは日本海セトロジー研究会ホームページで見ることができる（http://www.cetology.gr.jp/）。

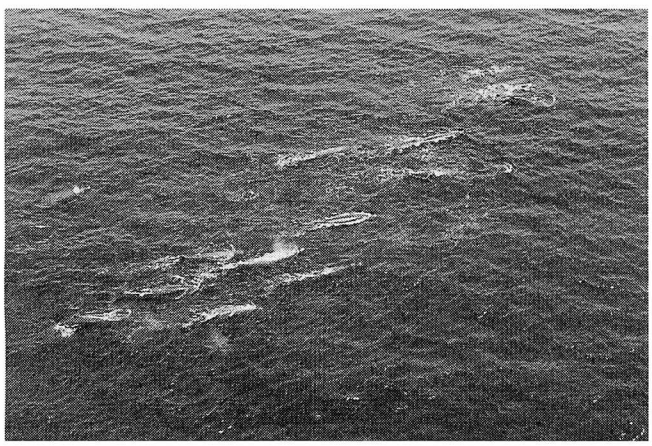


図４．2002年6月29日，魚津市沖富山湾で撮影されたツチクジラの群（第九管区海上保安本部提供）。

４．カマイルカ　*Lagenorhynchus obliquidens*　マイルカ科　Delphinidae　図５
場所：魚津市三ケ
確認日：2003年5月16日
状況：5月16日，魚津市三ケの海岸（魚津水族館裏）の波打ち際に設置されたテトラポッドの内側の浅瀬（砂利）で，生きた状態で市民に発見され，午前７時20分頃，魚津水族館に連絡があった。7時45分～8時頃に，同水族館及び魚津市農業水産漁港課職員が現地確認した。波の高さは約3mと高く救出は困難な状況であった。イルカは尾をバタバタさせていたが，そのうち2列のテトラポッドの間に挟まり，8時30分頃死亡した。同日，12時頃水族館，魚津市農業水産漁港課及び富山市科学文化センター職員により引き上げられ，富山市科学文化センターへ運搬され，5月17日に剖検が行われた。計測及び剖検は関谷伸一，西岡満，栗原望氏，南部久男，大田希生によって行われた。肉，内蔵等は東部清掃センター（朝日町）で処分された。
性別：メス
計測値（cm）：

・上顎先端～尾ビレ正中切痕底	201
・上顎先端～口角後端	22.5
・上顎先端～噴気孔口中央部	21
・上顎先端～眼中央	27
・上顎先端～外耳孔開口部	33
・上顎先端～胸ビレ基部	44
・上顎先端～ウネ後端	－
・上顎先端～背ビレ先端	－
・上顎先端～背ビレ基部前端	81
・上顎先端～臍中央	87
・上顎先端～生殖孔前端	137
・上顎先端～肛門前端	147
・上顎先端～吻基部	－
・口角後端～眼裂前端	4.8
・眼裂長径	2.5
・眼裂後端～外耳孔	6.1
・噴気孔幅	3.3
・胸ビレ（左）基底長	10.2
・胸ビレ（左）最大幅	12.0
・胸ビレ（左）前縁長	36.4
・胸ビレ（左）後縁長	27.5
・背ビレ最大幅	27.5
・背ビレ高	18.0
・背ビレ後縁長	16.2
・背ビレ前縁長	36.0
・尾柄部幅	4

・尾ビレ前縁長（左）　33.5
・尾ビレ前縁長（右）　34
・尾ビレ幅　53
・尾柄部～尾ビレ正中切痕底　14.0
・尾ビレ正中切痕底～尾ビレ先端　9

脂皮の厚み（胴中央部）：
背11mm，側面9mm，腹部9mm.
推定体重：約110Kg.

剖検概要：
・体全体に外傷があり，特に左側で多く見られた（死亡直前か死亡後のものと思われ，テトラポッドで傷ついた可能性がある）。
・口から若干出血が認められた。
・頭部（胸ビレ前方）で内出血が見られ，特に右側で顕著であった。
・前胃（第1胃）は空で，主胃（第2胃）又は幽門胃（第3胃）にイカ類のビーク約28個及び魚類の耳石と思われるものが約17個認められた。



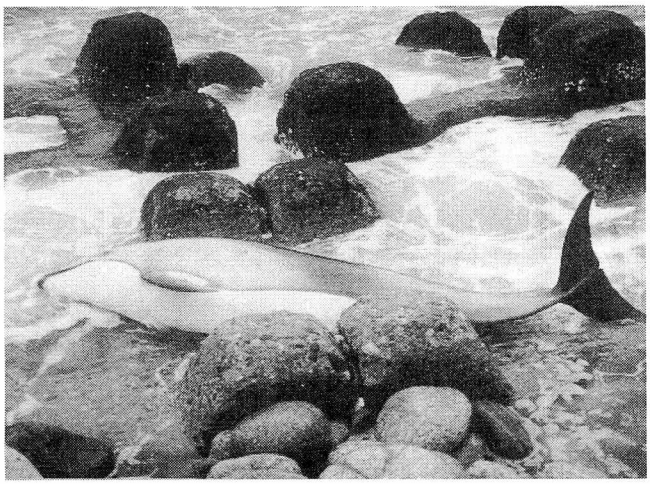


図５．2003年5月6日，魚津市三ケの海岸に漂着したカマイルカ（加野泰男氏撮影）。上，東を望む（左下にカマイルカが横たわっている）。

・胃に寄生虫が見られた。
・気管・気管支に出血性泡沫物が認められた。
・両肺の小気管支内に出血性泡沫と水があり，特に左肺の出血性泡沫物は顕著であった。
・両肺の表面一部に小豆大の黄斑が認められた。
・乳腺に乳汁が認められた。
・子宮角は肥大していた。

乳汁が認められたことや，子宮角の肥大より，出産まもないか，あるいは早産・死産の個体の可能性がある。
備考：全身骨格は富山市科学文化センターで保管。

富山湾（石川県側及び富山県側）では8種の鯨類（ミンククジラ，ツチクジラ，オウギハクジラ，イシイルカ，ハンドウイルカ，カマイルカ，オキゴンドウ，ハナゴンドウ）が記録され（佐野，1999；南部他，2002，2003），今回確認された３種は既知種であった。

ツチクジラは，富山湾では1996年6月24日，石川県能登島沖約8km で4～50頭の群れが記録されている（佐野，1999；新聞報道）。富山湾以外の石川県では，1970年6月10日（羽咋市）及び1971年6月25日（金沢市）にストランディングの記録がある（佐野，1999）。本種は富山湾（石川県側及び富山県側）で1950～1952年の3年間に16頭（オス11頭，メス5頭）が捕獲されている（Omura，1955）。これらの捕獲時期は7月であり，今回報告したツチクジラの確認時期とほぼ一致する。

謝辞

魚津水族博物館及び魚津市農業水産漁港課職員の方々，栗原望氏（名古屋大学環境学研究科）には調査にご協力をいただきました。富山県高岡土木センター海岸班，富山県水産漁港課，能都町水産課には，調査のご指導・ご協力いただきました。第九管区海上保安本部広報課にはツチクジラの写真を提供いただき，日本鯨類研究所石川創氏には同写真の鑑定をしていただきました。加野泰男氏（魚津水族館）には，カマイルカの情報及び写真を提供していただきました。志波友子氏には作図をしていただきました。関係各位に厚くお礼申し上げます。

引用文献

南部久男，稲村修，田島木綿子，倉持利明，山田格，2001．富山湾における鯨類（Cetaceans）の記録（2001年）．富山市科学文化センター研究報告，(25)：169-171.

南部久男，西岡満，田中豊，太田希生，2002．富山湾における鯨類・ウミガメ類の記録（2002年）．富

山市科学文化センター研究報告, (26) : 129-132.
Omura, H., Fujino, K. and Seiji, K., 1955. Beaked whale *Berardius bairdi* of Japan, with notes on *Ziphius cavirostris*. Sci. Rep. Whales Res. Inst., (10): 89-132.
佐野修, 1999. 第1章石川県の海棲哺乳類. 石川県の哺乳類. 石川県哺乳類研究会編, pp.107-120.